

mitoco Buddy

mitoco Buddy 2026.08.12 リリースノート

リリース日:2026 年 8 月 12 日



目次

はじめに	3
1 リリース内容	4
1.1 Agent2Agent プロトコルベースによるエージェント連携への対応	4
1.2 SAP 連携 MCP の追加	5
1.3 Azure Files MCP における書き込み(write)ツールのサポート	6
1.4 Lingo MCP の追加	7
1.5 ファイル(PDF / Word / PowerPoint)内画像のテキスト抽出・解析機能	9
1.6 最新 AI モデルへの対応	10
1.7 日本国内リージョン向け LLM の追加	10
1.8 ランチャー権限ユーザーの追加	10
1.9 スキルパッケージのアップロード上限容量の拡大(50MB)	13
1.10 チャット画面における MCP/スキルの即時追加・有効化	14
1.11 エージェントアイコンの自動生成機能の追加	15
1.12 Apps アクセス時の直近選択組織への自動遷移	16
1.13 プリセット機能の読み取り専用(Deprecated)化	17
1.14 【管理者】クレジット使用履歴の CSV ダウンロード機能	18
1.15 【Beta】Lingo:対応言語の追加(7 言語)	18
1.16 【Beta】Lingo:AI アシスタント機能の追加	20
1.17 Lingo: 会議詳細画面における文字検索機能の追加	22
1.18 Lingo: UI/UX 改善	23
2 お問い合わせ先	24
3 免責事項	25

はじめに

本リリースノートでは、mitoco Buddy の主要な新機能や、既存機能の機能強化に関する概要情報を提供します。新機能および機能強化には、既存の環境に影響を与える可能性があります。より詳細な情報については、リリース時に公開予定のヘルプサイトをご参照ください。

ヘルプサイト：<https://doc.buddy.mitoco.net/ja/user-guide>

■ 概要

2026.08.12 アップデートでは、以下の機能を強化または追加しています。詳細については、ハイパーリンクをクリックしてください。

- ・ [Agent2Agent プロトコルベースによるエージェント連携への対応](#)
- ・ [SAP 連携 MCP の追加](#)
- ・ [Azure Files MCP における書き込み\(write\)ツールのサポート](#)
- ・ [Lingo MCP の追加](#)
- ・ [ファイル\(PDF / Word / PowerPoint\)内画像のテキスト抽出・解析機能](#)
- ・ [最新 AI モデルへの対応](#)
- ・ [日本国内リージョン向け LLM の追加](#)
- ・ [ランチャー権限ユーザーの追加](#)
- ・ [スキルパッケージのアップロード上限容量の拡大\(50MB\)](#)
- ・ [チャット画面における MCP/スキルの即時追加・有効化](#)
- ・ [エージェントアイコンの自動生成機能の追加](#)
- ・ [Apps アクセス時の直近選択組織への自動遷移](#)
- ・ [プリセット機能の読み取り専用\(Deprecated\)化](#)
- ・ [【管理者】クレジット使用履歴の CSV ダウンロード機能](#)
- ・ [【Beta】Lingo:対応言語の追加\(7 言語\)](#)
- ・ [【Beta】Lingo:AI アシスタント機能の追加](#)
- ・ [Lingo: 会議詳細画面における文字検索機能の追加](#)
- ・ [Lingo: UI/UX 改善](#)
- ・

1 リリース内容

1.1 Agent2Agent プロトコルベースによるエージェント連携への対応

Agent2Agent(A2A)プロトコルに対応し、Microsoft Copilot Studio などの外部サービスから直接 mitoco Buddy Agent を呼び出して連携できるようになりました。



The screenshot displays the mitoco Buddy Agent interface. On the left is a sidebar with navigation options: '新しいチャット' (New Chat), '検索' (Search), 'ライブラリ' (Library), '作成' (Create), 'エージェント' (Agents), 'リサーチ ツール' (Research Tools), 'アナリスト' (Analyst), 'Integration Agent', 'Planner Agent', '新しいエージェント' (New Agent), 'すべてのエージェント' (All Agents), 'ノートブック' (Notebook), 'すべてのノートブック' (All Notebooks), 'チャット' (Chat), 'Collaboration Agentを呼び出して...' (Call Collaboration Agent...), and 'すべてのチャット' (All Chats). The main area shows a chat conversation with the 'Integration Agent'. A user message at the top says: '時から、「佐藤優斗さんとの夕食」というタイトルで予定を作成してください。' (Please create a meeting starting at [time], titled 'Dinner with Yuto Sato'). The agent's response states: 'Outlookカレンダーに予定を作成します。Outlookカレンダーへの予定作成が完了しました！' (I will create a meeting in the Outlook calendar. Meeting creation in the Outlook calendar is complete!). Below this, a section titled '作成された予定の詳細' (Details of the created meeting) contains a table with the following information:

項目	内容
タイトル	佐藤優斗さんとの夕食
日時 (JST)	2026年7月7日 (火) 19:00 ~ 20:00
日時 (UTC)	2026年7月7日 10:00 ~ 11:00
主催者	[Redacted]
リマインダー	開始15分前 (自動設定)

1.2 SAP 連携 MCP の追加

管理画面の MCP 連携管理に SAP 連携が追加されました。SAP Integration Suite MCP Gateway を経由して接続し、チャットやエージェントから SAP の業務機能を直接利用できます。

■ 何ができるようになるのか

- ・ **チャットやエージェントからの SAP データ照会と業務実行**
注文情報や顧客コード、資材の在庫状況などをチャット画面から直接確認や操作ができます。
- ・ **最新ツールの動的な取り込み**
固定のツール一覧ではなく、サーバーに配置された最新のツール群を取り込む操作によって、確認・使用できます。

■ メリット

- ・ **画面切り替えの手間を削減**
チャット画面を離れることなく SAP のデータを照会・実行できるため、業務の切り替えコストを減らせます。
- ・ **安全で柔軟なシステム連携**
認証方式と Gateway 経由のアクセス制御により、組織のセキュリティポリシーに合わせた安全な連携が可能です。

The screenshot shows the 'MCP' configuration page for SAP. On the left, there's a sidebar with 'SAP' selected under 'Built-in' and a detailed help text about SAP Integration Suite MCP Gateway. The main area is titled '接続情報' (Connection Information) and contains several input fields: '名前' (Name) set to 'SAP', '説明' (Description) set to 'SAP Integration Suite MCP Gatewayを通じてSAP機能を利用', 'MCP Endpoint URL' with a placeholder, 'Client ID' set to 'syoon3141@terrasky.com', and 'Client Secret' masked with dots. An 'インストール' (Install) button is at the bottom right. Below the form is a section '利用可能なツール' (Available Tools) with a message and a 'ツールを読み込む' (Load Tools) button.

1.3 Azure Files MCP における書き込み(write)ツールのサポート

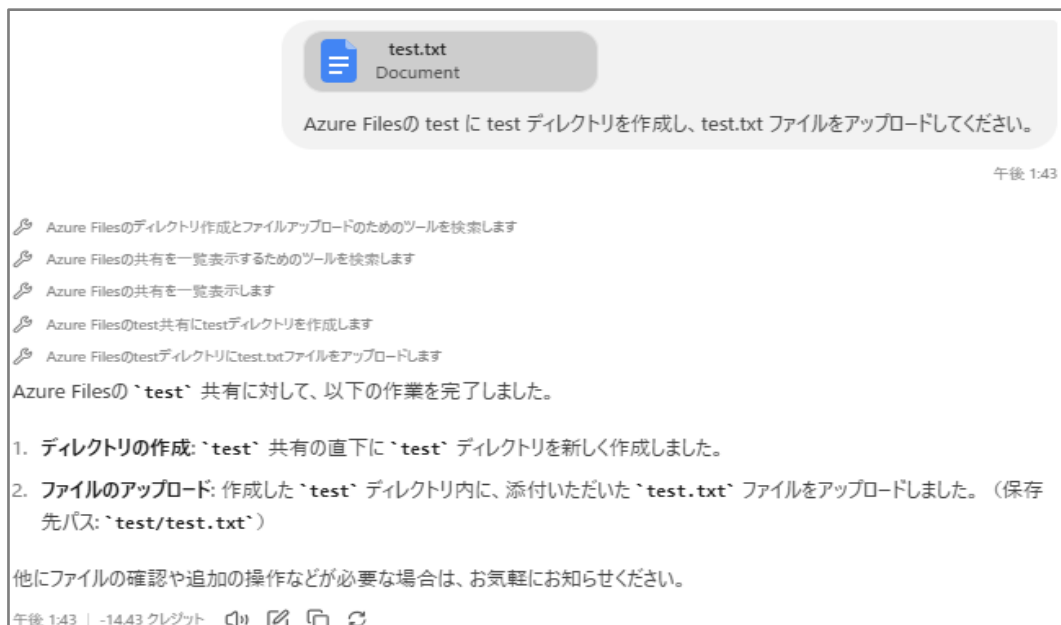
Azure Files MCP にて書き込みツールがサポートされ、ディレクトリの新規作成およびファイルのアップロードが可能になりました。

■ 何ができるようになるのか

- ・ **フォルダ構造の新規作成**
create_directory ツールを使用して、指定した共有の既存親ディレクトリ配下に新しいディレクトリを作成できます。
- ・ **ファイルのダイレクトアップロード**
upload_file ツールを使用して、チャットやスキル等で生成または取得した mitoco Buddy のファイル URI を Azure Files 共有の既存ディレクトリへアップロードできます。

■ メリット

- ・ **外部ストレージ操作の自動化と効率化**
チャットやスキルでの会話の流れを中断することなく、Azure Files 上へのフォルダ作成やファイル保存を直接実行できます。
- ・ **安全なファイル管理と上書き防止**
同名ファイルが存在する場合はアップロードが失敗する仕様となっているため、既存のデータを誤って上書き消去するリスクを防げます。



1.4 Lingo MCP の追加

mitoco Buddy が会議記録アプリ「Lingo」と連携するための Lingo MCP が追加されました。mitoco Buddy のチャット画面から Lingo の各種機能を直接操作できるようになります。



■ 何ができるようになるのか

mitoco Buddy のチャット画面上で指示を出すだけで、Lingo を使った会議の自動記録予約や、文字起こし・要約の作成や確認、専門用語の登録などが可能になります。また、会議の要約データを Salesforce をはじめとする業務システムの商談記録などへ直接反映させることができます。

■ メリット

会議の予約・記録の準備から、文字起こし・要約の作成、そして業務システムへのデータ入力までがシームレスに一本で繋がります。会議終了後に発生していたコピーペーストや手入力による書き込み作業が不要になり、会議で得た重要な情報を直接業務システムへとスピーディーに連携・蓄積できるようになります。

■ ユースケース

- ・ 会議ボットの参加予約：

「11 時に次のリモート会議を Lingo に設定『mitoco Buddy 定例』

<https://meet.google.com/xx-xx-xx>」

指定された時刻と Google Meet URL で、Lingo の会議ボットを予約します。メールの MCP と連携すれば、顧客からのメールに記載された会議情報から直接 Lingo の予約を行えます。

- ・ 会議要約の作成と確認：

「Lingo の昨日の『国際会議』の要約を日本語で作成して」

昨日 Lingo で記録した「国際会議」の文字起こしを探して要約を作成・表示します。さらに該当の Salesforce の活動記録に登録することもできます。

- ・ 専門用語・固有名詞の辞書登録：

「Lingo の辞書に新しい製品名『SmartSync』を追加して」

今後の会議で正しく文字起こしされるよう、Lingo の用語集（ホットワード）に自動で登録します。Excel ファイルや Google ドライブに格納されているドキュメントの用語集の登録も mitoco Buddy 経由で容易にできるようになります。

- ・ カレンダー予定の最新化とボット確認：

「カレンダーの予定を更新して、明日のミーティングに Lingo ボットが予約されているか確認して」

カレンダーの最新情報を同期し、明日の予定に Lingo ボットが設定されているかをチェックして結果を出力します。

会議要約の例：

Lingo

会議
終了した会議の会話、通訳記録、共有内容を確認します。

Q 会議を検索

期間 全てのタイプ 選択

8月4日 (火) 21:46 国際会議 ...

8月4日 (火) 7:40 In-person Meeting 2026. 8. 4. 午前 7:40 ...

GPT-5.6 Luna 共有

Lingoの昨日の「国際会議」の要約を日本語で作成

午前 10:48

🔗 昨日の「国際会議」の要約を日本語で作成するため、該当するLingoセッションを探します
該当セッションには既存の要約があります。新たに日本語要約を生成してから、内容を読み取ります。

🔗 昨日の「国際会議」の要約を日本語で作成するため、既存の要約を日本語で生成します
🔗 生成した昨日の「国際会議」の日本語要約を読み取ります
昨日（2026年8月4日）のLingo「国際会議」の日本語要約を作成しました。

会議の概要

熊田氏から、AIを活用した新製品の機能とリリース計画について説明がありました。主な焦点は、AIのセキュリティ向上と回答精度を高める新技術です。

主な議題

- AIセキュリティ：AIを安全に利用するための保護機能
- ソフトチェック機能：複数のAIを協調・同期させ、誤情報を検出・訂正する仕組み
- 独自技術により、80～90%の誤り検出率を目指す

リリース予定

何でも聞いてください

+ @ 🇯🇵 🔊

1.5 ファイル(PDF/Word/PowerPoint)内画像のテキスト抽出・解析機能

新たに OCR 抽出、分析モジュールが追加されました。

■ 何ができるようになるのか

・ ファイル添付に対応

PDF(.pdf)、Word(.docx)、PowerPoint(.pptx)内に埋め込まれた画像からテキストを抽出・解析します。

・ 多言語対応

日本語・韓国語・英語に対応しています。

1.6 最新 AI モデルへの対応

より高度な思考と自然な対話を実現するため、最新の AI モデルに対応しました。
用途に応じてモデルを切り替えてご利用いただけます。

- ・新対応モデル
- ・Grok 4.5
- ・Gemini 3.6 Flash
- ・Gemini 3.5 Flash-Lite

🔔 重要

- モデルを利用するには管理者設定の LLM モデルから有効化する必要があります。

1.7 日本国内リージョン向け LLM の追加

日本国内のリージョンで運用される LLM を指定できるようになりました。

- ・claude-4.5-haiku-jp
- ・claude-4.6-sonnet-jp
- ・claude-5-sonnet-jp
- ・claude-5-fable-jp
- ・claude-4.8-opus-jp

🔔 重要

- モデルを利用するには管理者設定の LLM モデルから有効化する必要があります。

1.8 ランチャー権限ユーザーの追加

エージェントの利用に特化したランチャー権限ユーザーを追加しました。

■ 何ができるようになるのか

対象ユーザーの権限を「ランチャー」に設定することで、エージェントの起動・会話のみを行える利用専用のユーザーを作成できます。

ランチャー権限のユーザーがログインするとエージェントランチャー画面が表示され、タイル状に並んだエージェントをクリックするだけで簡単に会話を開始できます。なお、このユーザーはエージェントの作成、スキル登録、MCP(Model Context Protocol)設定などの管理・設定操作はできません。

📌 補足

- ランチャー権限ユーザーは「組織エージェント」のみ利用可能です。

■ メリット

- ・ 誤操作の防止と安全な運用

エージェントの作成や各種設定(スキル登録、MCP 設定など)の権限を制限できるため、意図しない設定変更やトラブルを未然に防ぐことができます。

- ・ シンプルで迷わない操作性

ログイン直後から使えるエージェントが一覧で分かりやすく表示されるため、誰でも迷わずにすぐエージェントを活用できます。

ランチャー権限をユーザーに設定する：

ユーザー管理
組織のユーザーとその権限を管理します。

検索: jito タグを選択 一括操作

ユーザー	役割	ステータス	タグ	参加日	最終アクティビティ
[Redacted]	管理者	アクティブ	部署: 開発部	2026/01/30	7分前
[Redacted]	ランチャー	アクティブ	タグなし	2026/04/01	27日前

1 - 2 of 18

役割を変更 > 管理者 AI 担当者 メンバー ランチャー

ランチャー権限のユーザーには専用のエージェントランチャーと会話画面を表示：

mitoco 11

新しいチャット
エージェントを選択してください

AI 営業部長
AI 営業部長として、営業活動のレビューをします
チャットを開始 →

edge-tunnel test
チャットを開始 →

Gmail未読チェック & 本日の要約
Gmailを未読チェックします。
また本日の要約を行います
チャットを開始 →

Google Drive検索
Google Driveの検索を行います
チャットを開始 →

Map Agent
お客様情報を地図に表示します
チャットを開始 →

mitoco Bot (AI ChatBot)
mitocoBotに登録されたFAQを回答します
チャットを開始 →

v148bc41 J Edge Tunnel

1 リリース内容



1.9 スキルパッケージのアップロード上限容量の拡大(50MB)

スキル画面において、スキルパッケージのアップロード可能容量が従来の限度から 50MB へ拡大されました。

■ 何ができるようになるのか

- ・ **大容量スキルパッケージの直接アップロード**

大容量スキルパッケージを直接スキル画面から直接アップロードして登録・管理できるようになります。

- ・ **大容量スキルの正常性確認**

50MB 未満のファイルは正常に登録されて一覧へ即座に反映され、50MB を超過したファイルは適切なエラーメッセージが表示されて登録が制御されます。

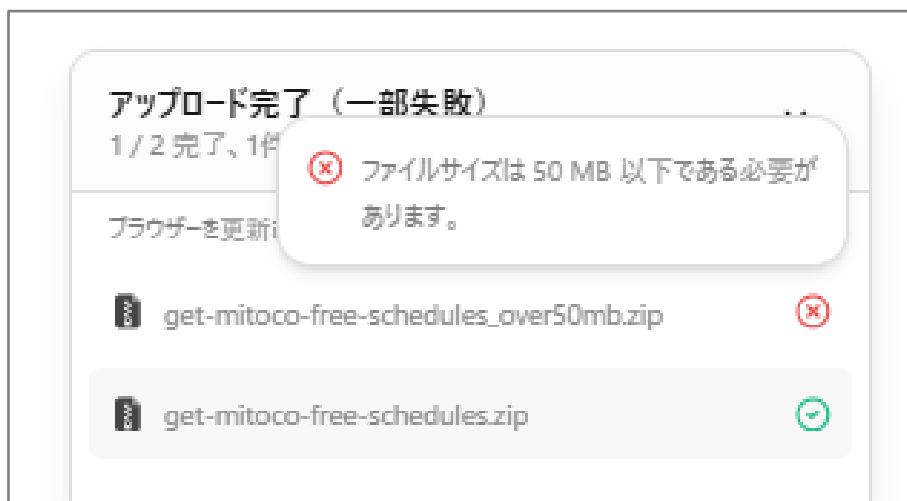
■ メリット

- ・ **複雑・高度なスキルの構築が可能に**

データ容量の制約が緩和されることで、より高機能で複雑なスキルパッケージを組み込むことが可能になり、業務自動化の適用範囲が広がります。

- ・ **エラーハンドリングの明確化による運用性の向上**

万が一 50MB を超えるファイルをアップロードした場合でも、上限超過の理由が分かるメッセージが表示されるため、ファイルサイズの調整や対応を迷わずスムーズに行うことができます。



1.10 チャット画面における MCP/スキルの即時追加・有効化

チャット画面からメニューを移動することなく、スキルや MCP を直接追加してすぐに利用できるようになりました。

■ 何ができるようになるのか

- ・ **チャット画面からのスムーズなスキル追加**

事前設定メニューへ移動することなく、チャット画面内のプラスボタンからスキルを使用、スキル管理へ進み、組織ライブラリからスキルをすぐに追加できます。

- ・ **会話文脈に応じた MCP の即時有効化と認証**

会話中に必要な MCP を追加して有効化し、そのまま認証を完了して利用を開始できます。

- ・ **追加直後の実行**

スキル追加後にスラッシュキーを入力することでスキルが読み込まれ、候補表示や会話での実行にすぐ利用できます。

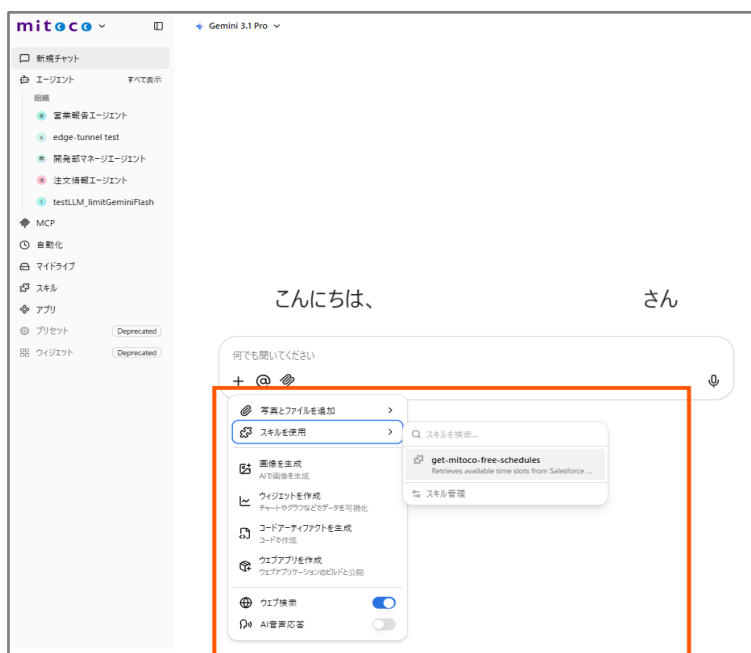
■ メリット

- ・ **画面遷移の解消による作業効率の向上**

設定画面への往復が不要になるため、会話や作業の文脈を中断することなくスムーズに業務を継続できます。

- ・ **必要なタイミングでの柔軟な機能拡張**

会話の途中で急遽必要になったスキルや MCP をその場で追加・認証できるため、事前準備の手間を大幅に削減できます。



1.11 エージェントアイコンの自動生成機能の追加

エージェントの名前と説明文の情報をもとに、エージェントアイコンを自動生成できるようになりました。

■ 何ができるようになるのか

- ・ エージェント情報からのアイコン自動生成

エージェントの新規作成画面や編集画面にて名前と説明を入力し、自動生成を実行することで最適なアイコン画像が生成されます。

- ・ 保存前のプレビュー確認

自動生成されたアイコン候補または確定アイコンは、保存前にプレビュー画面で確認してそのまま反映できます。

■ メリット

- ・ 画像作成の手間とコストを削減

外部の画像編集ソフト等を使って事前にアイコン画像を用意する必要がなくなり、画面上の操作だけで直感的にアイコンを設定できます。

- ・ エージェントの識別性と質の向上

エージェントの名前や説明に沿った適切なアイコンをすばやく設定できるため、エージェント一覧画面での視認性と管理性が向上します。

The screenshot shows a 'エージェント作成' (Agent Creation) dialog box. It has a close button (X) in the top right corner. The form contains three main sections: '名前' (Name) with a text input field containing 'Salesforce -test'; '概要' (Summary) with a text input field containing 'このエージェントが行う作業の簡単な説明'; and 'アイコン' (Icon). The 'アイコン' section features a preview of a blue robot icon, a button 'アイコンをアップロード' (Upload Icon), and a button 'アイコンを再生成' (Regenerate Icon). Below the buttons, there is a note: 'アイコンを生成すると、組織のクレジットが使用されます。PNGのみ、最大128KB、1:1アスペクト比(正方形)' (Generating an icon will use your organization's credits. PNG only, max 128KB, 1:1 aspect ratio (square)). At the bottom right of the dialog is a blue button labeled '作成' (Create).

エージェント作成

名前 *

Salesforce -test

概要

このエージェントが行う作業の簡単な説明

アイコン

アイコンをアップロード

アイコンを生成中...

名前と概要に基づいてアイコンを作成しています。

作成

1.12 Apps アクセス時の直近選択組織への自動遷移

Apps の入口 URL へ直接アクセスした際、直近で利用していた組織へ自動的に遷移するようになりました。

■ 何ができるようになるのか

- ・ 直近利用組織への自動ダイレクト遷移

組織指定を含まない mitoco Buddy アプリの入口 URL へアクセスした際、直近で利用していた組織が自動選択され、直接その組織の画面へアクセスできます。

- ・ 状況に応じた選択画面の自動表示

ブラウザに組織情報が保存されていない初回訪問時などのみ組織選択画面が表示され、情報がある場合は選択手順を自動でスキップします。

■ メリット

- ・ 毎回の組織選択の手間を削減

アクセスするたびに組織を選び直す必要がなくなり、利用したい画面へ即座に到達できます。

- ・ 誤った組織へのアクセス防止

直前に使用していた組織環境へ自動で遷移するため、意図しない別組織での作業ミスを防ぐことができます。

1.13 プリセット機能の読み取り専用(Deprecated)化

プリセットは、非推奨を示す [Deprecated] 表示付きの読み取り中心 UI 画面へ移行しました。

■ 何ができるようになるのか

- ・ 既存プリセット情報の参照とエクスポート

登録済みの既存プリセット内容や接続 URL を安全に確認できます。既存プリセットデータのエクスポートを実行できます。

- ・ 個人エージェントへのスムーズな移行

画面内に配置された「個人エージェント移行 URL ボタン」をクリックすることで、新しい運用環境 (個人エージェント) へ直接移動し、移行作業を行えます。



🔔 重要

- 今後廃止の予定があるため、個人エージェントへの移行を推奨します。

1.14 【管理者】クレジット使用履歴の CSV ダウンロード機能

クレジットの使用履歴を任意の期間(最大 31 日分)で指定し、CSV ファイルとしてダウンロードできます。

■ 何ができるようになるのか

- ・ **ユーザーごとの利用傾向の把握**
誰がどのツール・モデルを頻繁に利用しているかを可視化し、社内での活用状況を正確に把握できます。
- ・ **コスト発生状況の可視化と最適化**
部署やプロジェクトごとのクレジット消費ペースを簡単に集計・分析できるため、予算管理やコストの最適化に役立ちます。
- ・ **外部ツールとの連携分析**
SV 形式で出力できるため、Excel や BI ツールに取り込んで独自の集計やレポート作成をスムーズに進められます。



1.15 【Beta】Lingo:対応言語の追加(7 言語)

Lingo に新たに 7 言語が追加されました。

■ 何ができるようになるのか

以下の 7 言語が新しく利用可能になります。

- ・エストニア語
- ・スペイン語
- ・ドイツ語
- ・フランス語
- ・ポルトガル語
- ・イタリア語
- ・インドネシア語

対面会議(端末のマイク・画面オーディオ記録)とリモート会議(Zoom、Google Meet、Microsoft Teams)のどちらの環境でも、選択した言語(最大 3 言語)で以下の機能をご利用いただけます。

- ・リアルタイム文字起こし
- ・相互翻訳

・AI 自動要約

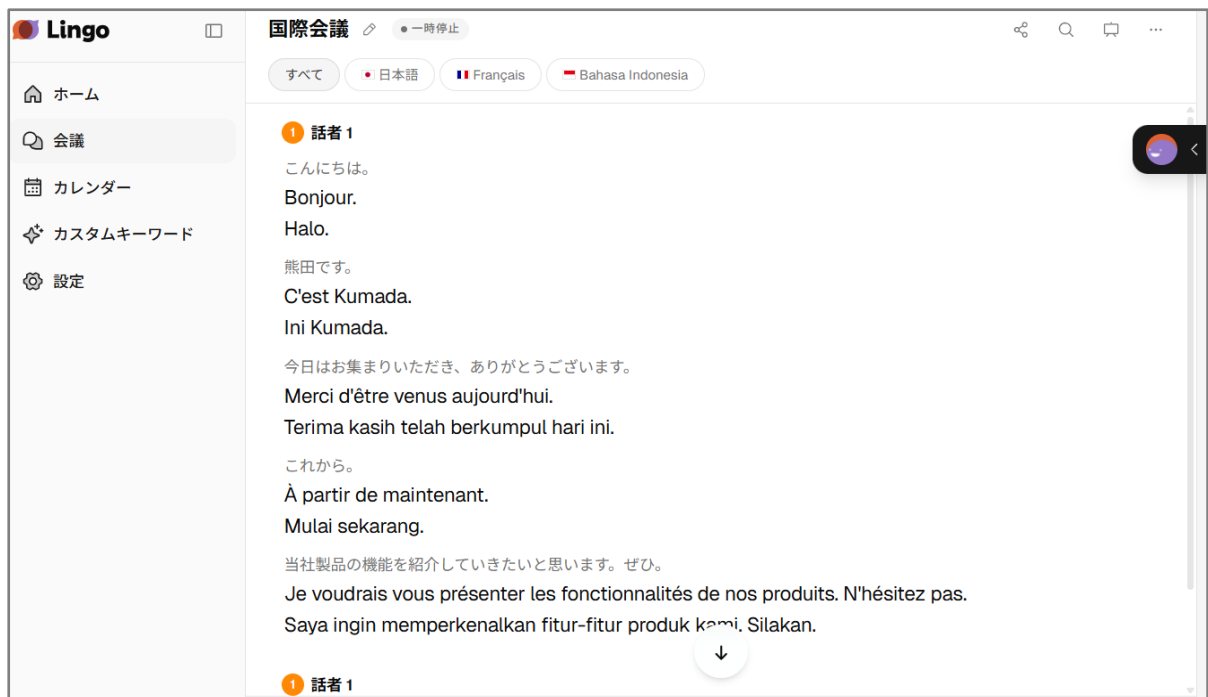
■ メリット

・グローバルコミュニケーションの円滑化

言葉の壁を気にせず、海外の取引先やグローバルチームとリアルタイムでスムーズに意思疎通が図れます。

・議事録作成の手間と時間を大幅削減

多言語の会議でも手動でメモを取る必要がなくなります。自動翻訳と要約機能により、会議後の議事録作成にかかる時間や工数を大幅に削減できます。



① 補足

- 本機能は、Beta 版での提供となります。

1.16 【Beta】Lingo:AI アシスタント機能の追加

会議の文脈や会話データをもとに、AI が要約や回答をサポートする Lingo AI アシスタント機能が追加されました。

■ 何ができるようになるのか

会議中に、画面右側の [AI アシスタント] アイコンをクリックします。画面横に AI パネルが表示されます。進行中の会議内容(文字起こし)をもとに、AI が瞬時に要約を作成したり、「決定事項」や「アクションアイテム」を整理したり、会議に関する質問に回答したりします。

■ メリット

・ 迅速なキャッチアップ

会議に途中参加した場合でも、それまでの議論の流れや決定事項をすぐに把握できます。

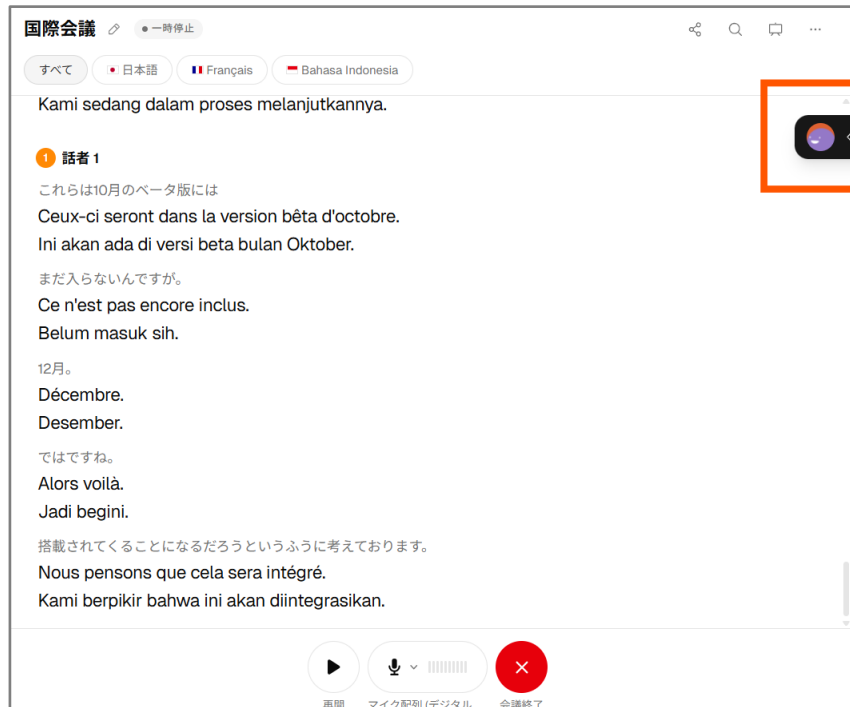
・ 議事録作成の効率化

会議後の振り返りや要約作業の手間を大幅に削減できます。

・ スムーズな確認

聞き逃した内容や気になったポイントを、会議の進行を止めずにその場で AI に確認できます。

画面右のアシスタントアイコンクリックで AI アシスタント起動：



アシスタントに進行中の会議の要約を依頼：

The screenshot displays the Lingo AI interface with a meeting transcript on the left and a summary request on the right.

Left Panel (Meeting Transcript):

- Header: 国際会議 (International Meeting), 一時停止 (Pause)
- Language Selection: すべて (All), 日本語 (Japanese), Français, Bahasa Indonesia
- Text: Kami sedang dalam proses melanjutkannya.
- Speaker 1 (話者 1):
 - Text: これらは10月のベータ版には
 - Text: Ceux-ci seront dans la version bêta d'octobre.
 - Text: Ini akan ada di versi beta bulan Oktober.
 - Text: まだ入らないんですが。
 - Text: Ce n'est pas encore inclus.
 - Text: Belum masuk sih.
 - Text: 12月。
 - Text: Décembre.
 - Text: Desember.
 - Text: ではありませんね。
 - Text: Alors voilà.
 - Text: Jadi begini.
 - Text: 搭載されてくることになるだろうというふうに考えております。
 - Text: Nous pensons que cela sera intégré.
 - Text: Kami berpikir bahwa ini akan diintegrasikan.
- Bottom Controls: 再開 (Resume), マイク配列 (デジタル...) (Microphone Array (Digital...)), 会議終了 (End Meeting)

Right Panel (Lingo AI Summary Request):

- Header: Lingo AI (BETA)
- Text: この会議の主な議論と結論を、3〜5個の簡潔な項目で要約してください。
- Text: 現在進行中の会議の文字起こしに基づき、主な議論と結論を4つの項目で簡潔に要約します。
- List of Items:
 - 1. 新製品のリリーススケジュール**
今年10月にベータ版、12月に正式版のリリースを予定しています。
 - 2. AIセキュリティ保護機能の提供**
管理が難しいとされるAIのセキュリティ課題に対応するため、新しい独自技術を用いた保護機能を提
- Buttons: 会議の要約 (Meeting Summary), 決定事項 (Decisions), アクションアイテム (Action Items)
- Input Field: Lingo AIに質問する (Ask Lingo AI)

① 補足

- 本機能は、Beta 版での提供となります。

1.17 Lingo: 会議詳細画面における文字検索機能の追加

会議詳細 画面で、トランスクリプト(書き起こし)のテキスト検索ができるようになりました。

■ 何ができるようになるのか

会議詳細 画面の右上にある[検索] ボタンから、トランスクリプト内のキーワードを直接検索できます。完了済みの会議だけでなく、現在進行中の会議でも利用できます。

キーワードを入力すると該当箇所がハイライト表示され、上下の矢印([▲] / [▼])ボタンで目的の発言へスムーズに移動できます。

■ メリット

- ・ 迅速なキャッチアップ

長時間の会議であっても、特定のキーワード(「セキュリティ」や「納期」など)に関する発言箇所をすぐに見つけられます。

- ・ 振り返り・確認作業のスピードアップ

会議中や終了後に発言内容を素早く再確認できるため、議事録のチェックや情報共有が円滑になります。



1.18 Lingo: UI/UX 改善

Lingo をより快適にご利用いただけるよう、UI/UX を改善しました。

リアルタイム通訳へのカスタムキーワード反映

- ・ カスタムキーワード機能では、会議でよく使う固有名詞や社内用語を「マイキーワード」として登録しておくことで、Lingo がより正確に認識・翻訳できるようになります。
- ・ 従来の対面会議やリモート会議に加え、リアルタイム通訳機能でもカスタムキーワードを利用できるようになりました。
- ・ 人名、製品名、社内用語などをあらかじめ登録しておくことで、リアルタイム通訳時の誤訳や表記ブレを防ぎます。通訳の精度が向上するため、リアルタイムな会話でも聞き取り直しや認識の齟齬がなくなり、円滑なコミュニケーションが行えます。

Lingo アクセス時のテーマ維持

mitoco Buddy で使用中のテーマ(システム、ライト、ダーク)が、Lingo にアクセスした際にも自動的に適用されます。これにより、画面を移動するたびにテーマを設定し直す手間が省け、使い慣れた画面設定のままスムーズに作業を継続できます。

モバイル Web のバッテリー効率改善

- ・ Lingo をモバイル端末で利用する際のバッテリー効率改善を行いました。
- ・ スマートフォンやタブレットなどのモバイル Web ブラウザで Lingo を利用する際の電力消費が、これまでよりも抑えられます。
- ・ デバイスのバッテリー消費が軽減されるため、外出先や移動中など充電が難しい場所でも、電池残量を気にせず長時間安心して Lingo をご利用いただけます。

2 お問い合わせ先

ご不明点などがございましたら、以下よりお問い合わせください。

<https://d.terrasky.jp/ProductSupport>

3 免責事項

本リリースノートは 2026 年 8 月 12 日現在のものです。本製品は、定期的にアップデートされるため、記載内容と現在の動作が異なる場合は、現況を優先させていただきます。

mitoco Buddy 利用規約については、[こちら](#)をご覧ください。

本リリースノートの内容は、将来予告なしに変更されることがあります。

本リリースノートの内容につきましては万全を期しておりますが、万一不明な点や誤り、記載もれなど、お気づきの点がございましたら当社までご連絡ください。



製品サポート

製品情報

<https://www.mitoco.net/mitocoBuddy>

製品ユーザーガイド

<https://doc.buddy.mitoco.net/ja/user-guide>

お問い合わせ窓口

<https://d.terrasky.jp/ProductSupport>

mitoco Buddy 2026.08.12 リリースノート

リリース日：2026 年 8 月 12 日